

Hoppoken

北方圏

2022
Vol. 191



特集

「再生エネルギー 覇権争う世界、そして日本」

「アイスランドにおける男女平等の取り組みに学ぶ」

「北海道在住外国人緊急支援プロジェクト」



公益社団法人
北海道国際交流・協力総合センター
HIECC/ハイエック

したハラルフードに関する出張講座や、地元のレストランとイスラム教徒のビジネスマンの交流などもアレンジしていただけると思います。

——地域との交流で、好循環が生まれるといいですね。

日本では、海外からイスラム過激派組織によるテロ事件などのニュースが届くと、イスラム教は戦闘的で怖いという印象を抱く人もいるかもしれません。イスラム

教は本来、平和を願う宗教であることを、日本の皆さんに伝えたいと思っています。

私たちの信仰とコミュニティを支える場として、礼拝所と多目的ホールや学校、ミュージアムなどを備えた施設、イスラミック・センターを札幌に建設する計画があります。土地の購入費用をクラウドファンディングで募る「札幌マスジドプロジェクト」には、588人の支援者から46万ドルを上

回る寄付が寄せられました。

完成したら、ここをイスラム文化発信の拠点として、交流プログラムやセミナーも開催していきたいと考えています。コロナ禍のためにイベントを控えるようになる前は、ハラルフードナイトや、カルチャーナイトといったアクティビティーを区民センターで開催し、たくさんの方が来てくれました。

私たちはラマダン(※注3)の時期、日中は断食をしますが、日の出前や日没後は親しい人たちと一緒に食事をします。札幌でもさまざまな国の人が毎日集まり、各国の料理を作って分かち合います。近所の日本人の方たちも来てくれて、楽しい時間を過ごしています。

——北海道の暮らしを楽しんでくださって何よりです。

北海道は豊かな自然に恵まれ、インドネシアやマレーシア、シンガポールといった南国のイスラム教徒に人気の観光地です。北海道が安全で友好的な自治体であり、礼拝ができるスペースも、安心して食事ができる場所もあることを知ったら、きつともっと多くの旅行者が訪れるでしょう。コロナが収束したら、ぜひ雪を楽しみに来てほしいですね。

日本の皆さんは、災害やコロナ禍で自分たちも大変な時、私たちに食料を分けたり募金をしたりして助けてくれました。これからも皆さんと共に生き、知識を分かち合い、交流を深め、地域のハートのために尽くします。



1993年に開設された札幌マスジド (マスジドはアラビア語でモスクの意味)

※注3：ラマダンとは

の目を9番の月、11日に断食を終る。断食の間、心を清め、心身を鍛錬し、神に近づき、親しい人々と食事を共にする。

Mohammad Towfik Aliam
 ハングラテシユ・ダツカ出身。同国で口腔外科医を務め、2007年に文部科学省の国費留学生として来日。北海道大学で歯学博士号を取得。現在は同大学大学院歯学研究所、口腔病態学分野、血管生物分子病理学教室に学術研究員として勤務。妻、娘2人と共に札幌に在住。趣味は旅行。